

陳 情 第 2 7 号	令 5 . 5 . 1 0 受 理
<p>(件 名)</p> <p>武岡団地グリーンベルトの樹木管理について</p>	
<p>(陳情の要旨)</p> <p>武岡1丁目にある市営住宅横のグリーンベルトは、山之口元鹿児島市長の「グリーンストーム作戦」に沿って武岡団地造成時に設置された。サツキ、ツツジ、サザンカに彩られ、住民はもとより、散歩コースとして楽しむ市民も多く、50年近く原風景・地域憩いの緑として親しまれている。</p> <p>当該グリーンベルトは、山之口元市長が鹿児島市の緑地化計画を推進する中で武岡団地造成時に九州電力（以下、「九電」）と話し合い、九電所有の高圧線下に当時の鹿児島市住宅公社が設置した。</p> <p>鹿児島市は、サザンカ、ツツジを植栽し、年2～4回の剪定や薬剤散布などの樹木管理をしてきたが、鹿児島市の説明によると「鹿児島市所有でない土地になぜ税金を使う」との住民からの電話を受け、平成17年（2005年）、鹿児島市は九電に平成18年度以降の樹木管理を移管し、その後、九電分社化により九電送配電（株）に管理が移行された。</p> <p>令和4年7月末に、九電送配電（株）から「グリーンベルト1区画を全面駐車場にし、収益は管理に充当し、樹木は取り除き全面芝生か除草シートで覆う」との話があり、貴重な緑を何とか残せないか、グリーンベルト周辺住民にお知らせ・アンケートを配布して回収・集約し、事業者と話し合いを重ねてきたが、令和5年2月27日、九電送配電（株）から住民に以下3案の提案があった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グリーンベルトは現状維持するが、樹木管理は地域で行う。 2. サザンカ・ツツジを撤去し、全面芝生に張り替え、樹木管理は地域で行う。 3. サザンカ・ツツジを撤去し、全面芝生に張り替え、グリーンベルト1区画を全面撤去の上、駐車場にして、樹木管理は九電送配電（株）が行う。 <p>これらについて、案1の管理費（年120万円）、案2の管理費（年20万円）は、どちらも地域での負担は難しく、案3では、有料駐車場設置による騒音、事故、治安に不安を覚えている。</p> <p>武岡団地グリーンベルトは、鹿児島市の意向に沿って設置され、団地造成から約30年は鹿児島市が樹木管理を担った。通常、市が民間所有地を一部管理する場合には文書を交わすが、団地造成時の樹木管理についても平成17年の樹木管理移管についても、覚書・協定書が鹿児島市・九電のどちらにもない。</p> <p>令和4年12月5日、鹿児島市は九電送配電（株）からの市への再移管の申出を断っているが、「緑地化計画を放棄せず、貴重な緑を地域に残す」という鹿児島市の英断を求め、下記事項について陳情する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 鹿児島市は、地域憩いの「武岡団地グリーンベルト」の樹木保全に尽力していただきたい。 	